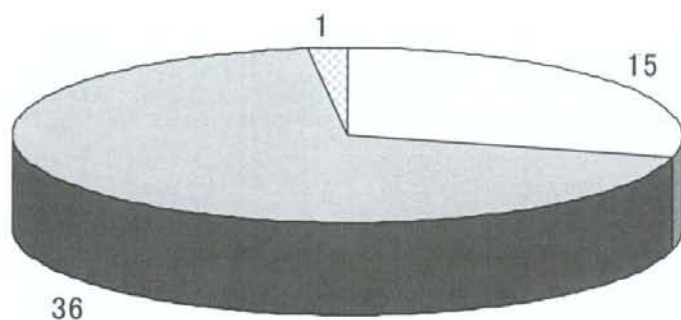
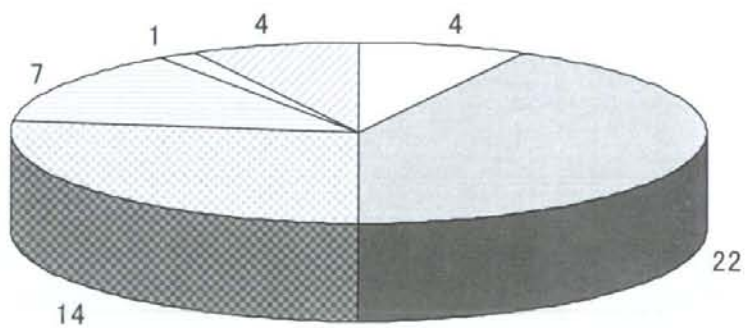


図 12 回答者(病院薬剤師)の勤務する病院の病床数



□ 調剤のみ □ 調剤+OTC □ その他

図 13 回答者(保険薬局薬剤師)の勤務する薬局の業務形態



□ 0~49(枚) □ 50~99 □ 100~199 □ 200~299 □ 300~ □ 無回答

図 14 回答者(保険薬局薬剤師)の勤務する薬局の1日平均処方箋受付枚数

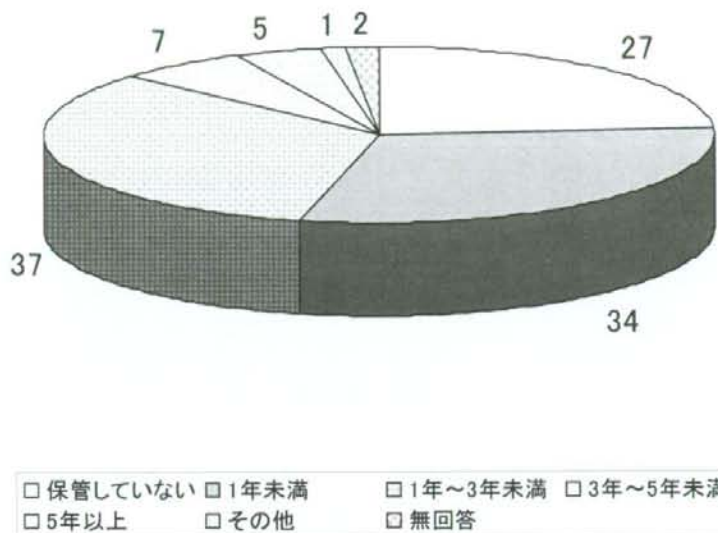


図 15 回答者全体の改訂のお知らせの保管状況

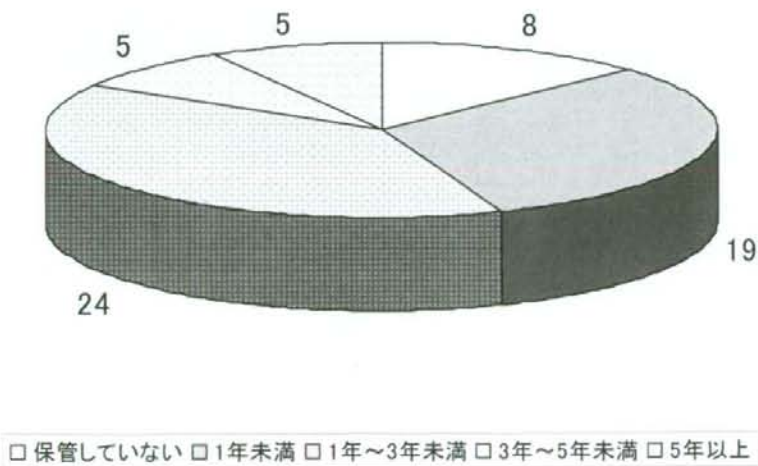
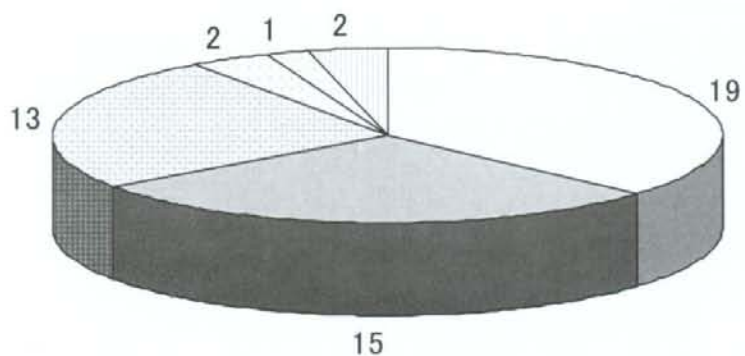


図 16 病院の改訂のお知らせの保管状況



□ 保管していない □ 1年未満 □ 1年～3年未満 □ 3年～5年未満 □ その他 □ 無回答

図 17 保険薬局の改訂のお知らせの保管状況

(参考資料 1)

医療用医薬品の使用上の注意記載要領について

(平成 9 年 4 月 25 日 薬発第 607 号)

[小児等への投与]

1. 「未熟児、新生児、乳児、幼児又は小児（以下「小児等」という）」の用法及び用量は承認されていないが、小児等に用いられる可能性のある医薬品であって「小児等」に対する臨床試験データが十分でない場合には、原則として次のように記載すること。

「未熟児、新生児、乳児、幼児又は小児に対する安全性は確立していない。」

なお、「使用経験がない」、「使用経験が少ない」等の理由を（ ）書きで付記しても差し支えない。

2. 小児等に特殊な有害性を有すると考えられる場合にあっては、その旨を記載すること。
3. 小児等の薬物代謝に関する文献等を参考として、できるだけ情報を記載する方向で検討し、類似薬から類推できるものは、その旨を記載すること。
4. 特に記載すべき情報としては次のものが該当すること。
 - I. 解毒機能が未発達な乳児以下の者に関する情報
 - II. 成人と薬物代謝が異なる場合の情報（例えば、解毒・排泄機能が未発達であるために生ずる血中薬物濃度低下の遅延等）

添付文書改訂に伴う医薬品情報の取り扱いについての
調査票へのご協力依頼

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

医療従事者の先生方が日頃添付文書の改訂情報を得る方法として「添付文書」、「医薬品安全対策情報 (DSU)」、医薬品医療機器総合機構による「医薬品医療機器情報提供ホームページ」、製薬企業から送付 (配布) される「添付文書改訂に関するお知らせ」などをご利用されているものと存じます。そのうち「添付文書」と「医薬品安全対策情報 (DSU)」は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」にて閲覧することが可能です。そこで本調査では貴施設での「添付文書改訂に関するお知らせ」の取扱や保管についてお聞きしたく、調査票を配布させていただきました。

ご多忙の折大変恐縮ですが、ご協力よろしくお願い申し上げます。

敬具

千葉大学大学院薬学研究院 臨床教育学研究室 教授 佐藤信範
医薬品情報学研究室 教授 上田志朗

以下の質問に対し、該当する選択肢 (番号) に○をつけてお答えください。

Q1. あなた自身についてお聞かせください。

- 年齢 ①20代 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代以上
性別 ①男 ②女
薬剤師経験年数 ①5年未満 ②5年以上～10年未満
③10年以上～15年未満 ④15年以上

Q2. 貴施設についてお教えてください。

病院で勤務されている先生

・病床数

- ①100床未満 ②100床以上 200床未満 ③200床以上 300床未満
④300床以上 400床未満 ⑤400床以上

薬局で勤務されている先生

・業務形態

- ①調剤のみ ②調剤+OTC ③OTCのみ

・1日の平均処方箋受付枚数 約 _____ 枚 (数字をご記入ください)

続いて添付文書改訂時の情報の保管についてお伺いいたします。

